

ウェルカムパーティー

2月13日(水)の夕方、北原記念館チャレンジショップにて、ボストン東スクール歓迎パーティーが行われました。例年小中学校の発表会の前日に開催され、今年はボストンからガーランド理事長や17歳の息子さんが在籍されているウィナリー夫妻など、計6名の方々がいらっしやいました。例年のように今城先生や高専の学生さんによる心づくしのお料理をいただきながら、終始和やかで笑顔に満ちた会になりました。白田副会長の軽妙な司会進行のもと、各園校、むらさき代表からのスピーチをいただきました。各園校を巡る学園ツアーも好評で、小学校からは子どもたちの写真入りメッセージカードが贈られたりしました。そして本田会長の関西風イングリッシュでのプレゼント贈呈も大いに盛り上がり、エンジョイ20周年グッズ、武蔵野東デザインのかわいいノート、高等専修学校の陶芸作品など、心づくしの品々が大変喜んでおられました。ボストン東からは現在取り組んでおられるContinuing Adult Education Program (CAEP)のロゴ入りTシャツをいただきました。お互いを思いやり同じ理念を共有する仲間として、暖かく確かな絆を感じることができました。(むらさき会 会長A)

OBクリスマス会

「メリー・クリスマス!!」、学園を巣立った230名のOBと先生方40名、総勢270名のよこびの声が講堂に響き、12月1日(土)、「クリスマス会」の始まりです。先生方から再会を祝うあたたかいお言葉をいただいた後は、若手先生による楽しいステージショーや定番の鉄道クイズ。クリスマス特製のお弁当に舌鼓を打ちながら、懐かしい友や恩師と歓談のひととき。そして、お待ちかねのくじ引き大会。一人一人くじを引いてクリスマスプレゼントをGETします。さらにWくじを当てるチャンス。あつという間に楽しい時間が過ぎていきます。わくわく・ドキドキのこのクリスマス会には、毎年たくさんのOBが高等専修学校に戻ってきてくれます。また来年度も笑顔を連れて戻ってきてくださいね。毎回あたたかく迎えてくださる先生方、会場セッティング等お手伝いくださった保護者や在校生の皆様へ感謝致します。(むらさきOB会幹事 高専29期卒 保護者K)



⇒卒業したら後援会OB会へ

みなさん、武蔵野東学園の後援会OB会をご存知でしょうか? 学園祭の時、東小学校でお餅や焼きそばを売っているのが後援会OB会です。武蔵野東学園には、むらさきOB会と後援会OB会の二つのOB会がありますが、後援会OB会は、活動趣旨に賛同され、各園校のどこかを卒業した生徒の保護者であれどなたでも加入できます。後援会OB会の活動は、学園祭のお餅や焼きそばだけではなく、春の日帰り旅行、秋の一泊旅行、そして新年会等行事も盛りだくさんです。中には自分の都合に合わせて参加する行事を選んでいる方もいます。今年度は、春の日帰り旅行を浅草演芸場で楽しみ、秋の一泊旅行は『山梨～静岡を回り、富士山の絶景スポットを巡る旅』と題して、富士山を一周してきました。今、一期生から昨年度東中を卒業された生徒の保護者まで幅の広い方が加入されています。是非みなさんお子さんが東を卒業されたら、後援会OB会に加入をお願いします。そして、一緒に楽しみましょう!(後援会OB会 会員S)



編集後記

もう少しで春がやって来ますね。「春」と言えば「卒業」。この時期、卒業年次の各園校の児童や生徒の皆さん、そして保護者の方々は、武蔵野東学園で過ごした日々を様々な思いで振り返っておられることと思います。わが家庭も子ども3人が学園にお世話になり、もうすぐ最後にお世話になった長女の卒業とともに、保護者としての学園生活が終わりになります。卒業生の皆さまは、卒業までの残り少ない日々、最後まで東学園での充実した生活を送って頂きたいと思えます。そして卒業しても、東学園で得たもの、特に「友愛」の気持ちを忘れずに、新しいステージでの活躍を編集委員一同祈念しております。(編集委員 S)

●編集委員会(編集スタッフ)

高等専修	横田佐和子	山下詩織
中学校	工藤美智恵	杉岡美恵子
小学校	森百代	松本裕子
幼稚園	石川陽子	松本佳奈
高等専修	松井幹和	本間 聡
中学校	咲間全雄	遠藤崇浩
小学校	内藤忠男	白田剛 大黒貴之



武蔵野東学園 連合後援会だより



今年度の最終号は年末年始のイベントや発表会の様子、そして卒園式、卒業式を控えた保護者の方の感想をお届けいたします。卒業を控える子どもたちは、少しの不安を抱えながらも新しい生活に胸を膨らませていることと存じます。子供たちが1つ1つステップを上がっていく姿を激励の言葉をかけながら温かく見守っていきましょう。さて後援会だよりも次回から新年度。編集委員一同、気持ちを新たに紙面の充実に努めてまいります。(編集委員 H)

ある時から、我が家のペットボトル・キャップが姿を消すようになりました。不思議に思っていると、リュックに「何か」を詰め込む息子の姿。「ベイを持って行く!」日増しにカスタマイズされていく自慢の手作りベイゴマ。「このキラキラは回るとききれいだし、これを付けると重くなって強い!これは早く回るやつ!」…語らせるともう止まりません。バラバラの物から自分達の好きな物を作り出す。遊び道具が無くても自分達でルールや遊びを作り出して行く。そして、楽しい記憶をお友達と共有する喜び。先生方はこの子ども達の純粋な喜びの活動を、いつもせかさずに温かく見守って下さいました。最初は思わず二度見してしまった園訓の「こんきのよさ」ですが、私達保護者の方が学ばせて頂く機会が多かったと思います。子ども達のうれしい記憶を卒園のその先にも増やせるように。一生モノの3年間を本当にありがとうございました。(年長 保護者O)

入学式からあつという間の6年間、長男は入学当時、軽度の難聴でたどたどしい口調でしか話ができず、病院で言語指導を受けておりましたが、わずか3ヶ月程で驚くほどの成長を遂げ、通院しなくてもいいと言われるほどになりました。先生方のきめ細やかなご指導、お友だちが与えてくれた良い影響のおかげだと思っております。言葉の成長だけでなく、6年間の様々な貴重な経験を通して何事にも一生懸命取り組むこと、思いやりの精神を学ばせていただきました。これからの彼の人生にとって大きな糧となることでしょうか。私の2年間の後援会活動は大変な事もありましたがとても楽しく充実した日々を過ごすことができました。先生方をはじめ、役員の方々の皆様、保護者の方々のご協力により今日まで務めることができました。本当にありがとうございました。最後になりますが、東学園の益々のご発展をお祈り申し上げます。(小6 保護者M)

卒業にあたって

『55』9年間で伸びた身長です。この55cmの中には、先生方の熱意のある温かいご指導、たくさんの友達と切磋琢磨した思い出、東学園ならではの貴重な経験がたくさん詰まっています。小さかった息子を大きく育ててくださった東学園に心から感謝いたします。いよいよ東学園を卒業することとなってしまいました。春からは、新たな一歩を踏みだします。この55cmが自信となり、東学園の卒業生として胸をはって進んで行けることと思います。私も後援会を通し、たくさんの方々と出会い、楽しい時間を過ごさせていただきました。先生方をはじめ、保護者のみなさまには、多大なるご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。最後になりましたが、東学園の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。(中3年 保護者I)

15年前、高等専修学校の講堂で東幼稚園の入園式を迎えた息子も、いよいよ東学園を卒業することになりました。相変わらず、興味に偏りがあり、自分が好きな事を言って喜んでいるような息子ですが、この15年間で、苦手な事を少しずつ克服し、自分でできる事を着実に増やす事ができたと思います。特に高等専修学校の3年間では、クラスメートや部活を通して、周りを見て気配りができるようになり、頼もしく感じることも増えてきました。これまでの先生方の熱いご指導に感謝の気持ちでいっぱいです。春からの新たな生活に期待と不安もありますが、これまでの学びを糧に、充実した社会人生活を送って欲しいと願っています。最後になりましたが、先生方のお力添えと、保護者の皆様のご協力を頂き、後援会活動をすることができました。本当にありがとうございました。東学園の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。(高専3年 保護者K)



発表会

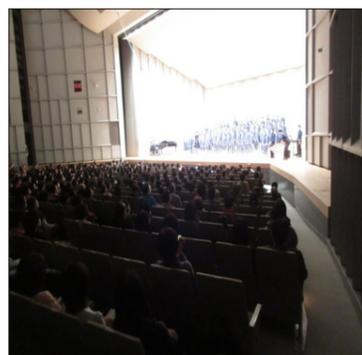


東幼稚園最後の発表会がついに幕を閉じました。娘は状況変化に敏感で模倣や運動も大の苦手。それでもできる限りベストを尽くし自信を持ってステージで輝いてほしい！との思いを胸に、親として日々試行錯誤を重ねつつ娘の頑張りを応援してきました。乗らなかった日はないという位、毎日の様に練習をしたローラースルー。全く乗れなかった事を忘れてしまう程ぐんぐん加速してこげるようになりました。苦手な模倣も少しずつできるように。

そして発表会当日。やはり少し緊張して練習通りにはいかない所もありましたが、本番に向けた娘の頑張りにこそ価値があると胸を張って誇らしく思えました。娘は練習を通してたくさんの「できる自分」に出会い、次の一步を踏み出す自信をつけました。そして人より少し遠回りでもコツコツとがんばる心を学びました。発表会を乗り越えた子供の育ちに希望を抱くと共に、たくさんのお力添えを頂いた先生方に感謝の気持ちで一杯です。(年長 保護者M)

逞しさ、動きのキレ、優雅さ、胸に響く歌声と音色、真剣な眼差し、自信に満ちた笑顔…、舞台から会場の隅々まで届けられる皆さんの「発表」に心を奪われ、また、多種多様なプログラム構成に圧倒される、そんな感動のひとつでした。特に中学生の完成されたダンス、バスケ、武道に釘付けになりました。あれほどの大舞台で、この一瞬に力を出し切る姿を見て、我が子も経験を積み重ねることであんなパフォーマンスができるようになるのかも…と、改めて東学園の伝統行事を通して成長させていただけに感慨を覚えました。

当日、娘は、緊張を口にする事があっても、その顔つきは自信を伴っておりました。技術のみならず、児童一人一人のモチベーションを高め、この日に最高値を持ってくるような流れを上手に作ってくださった先生方。一心に努力する素直な心を育てくださるそのご指導に、心から感謝申し上げます。どうも、ありがとうございます。(小2 保護者I)



幼稚園時代から見続けた発表会も今年で十回目となりました。先生方の熱いご指導と子供たちの熱心な練習の成果が発揮されるこの日を毎年楽しみにしています。

今年から中学生となった我が子は、冬休み前からリコーダーに苦戦していました。正直、小学校のバイオリンやオーケストラに比べて地味な演目なのに、こんなに練習しなければならないのかと不思議でした。けれども、練習を重ねるにつれ少しずつ上達し、本番では見事な演奏を聞かせてくれました。この本番までの努力の日々こそが発表会の収穫であると思います。

また、男子の武道と女子のダンスも「さすが中学生」というレベルの演技でした。一つ一つの動作に対する意識がはっきりしていることが感じられ、演技に引き込まれました。来年は二年生として、さらにパワーアップした演技を見られるのが今から楽しみです。

この発表会という大きな行事を通して、また一回り大きく成長させて頂いたことに感謝しています。ありがとうございました。(中1 保護者S)

むらさき会新年会

1月19日(土)、むらさき会新年会が、中学校「北原記念体育館」にて盛大に行われました。先生方と幼・小・中・高専・OBのむらさき会保護者で広い体育館がいっぱいになる様子を、毎年、多くの仲間や理解者に囲まれている環境に心強さを感じ、この恵まれた環境にいられることに感謝の気持ちを新たにいたしました。

どのテーブルも会話に花が咲き、いつもと違った先生の一面、保護者の一面が垣間見られたのではないかと思います。お父様のご参加も多く、高専はご夫婦でのご参加も多かったように思います。

集計などの準備に関わられた行事部役員さん、片付け等ご協力いただいた当日ご参加の皆様、ありがとうございます。また、先生方に多数ご参加いただき、準備や片付け等も率先して行ってくくださったこと、感謝申し上げます。今回はご都合が合わなかった方も、来年は会場でお会いできたらうれしいです。(高専2年 保護者H)

成人を祝う会

冬晴れの佳き日、懐かしい母校にて1月26日土曜日「第29期成人を祝う会」が開催されました。広い高等専修学校の講堂は卒業生、保護者、そして先生方、合わせて約130名で埋め尽くされ、大変盛大な会となりました。色鮮やかで美しい女の子の晴れ着姿に凛々しい男子のスーツ、羽織袴姿は眩しいばかりで、祝う会に華を添えてくれました。また、「元気だった?」「立派になったね!」など先生や友達との和やかなやり取りは、見ていてとても微笑ましく、学生時代にタイムスリップしたかのよう。29期生らしく、ほのぼのとした素敵な会となりました。近況報告では、緊張した様子もありつつ、1人1人がマイクを握りしっかり話す姿はとても頼もしく、社会や学校で頑張っている様子が伝わって来るものでした。

むらさき会の友達とバディの交流も多々見られ、東学園の混合教育の真髄を見た思いでした。会の最後は、皆で仲良く記念撮影し又の再会を楽しみに会はお開きとなりました。成人を祝う会を通して、改めて東学園の先生方、友達との絆の深さを感じております。これからもこのご縁を大切に、29期生皆の未来が明るいものでありますように、と願っております。

(高専29期卒 保護者Y)



餅つき



平成最後の師走の12月18日、息子が幼稚園最後の餅つき大会、レッツ最後のお手伝いに参加しました。冬の冷たく澄んだ空気が満ちた園庭に、餅米を蒸した甘くどこか懐かしい香りが漂っていました。郷土保存会のご指導のもとお父さん方で園児達がつける程度まで、“仕上げる”のですが中々腰が入らず米粒から餅にすることに手こずりました。園児達の声援を受け、お父さん同士の息も合い始め、やっと乳白に輝く搗き立ての餅が仕上がりました。年少は恐る恐る、年中は指で突き、年長は慣れた手つきでペタペタと餅の仕上がりを確かめていました。子供達も順番に友達と力を合わせて餅つきを行います。威勢のよい子、ちょっと恥ずかしい子、杵が重く苦戦する子等々いましたが皆明るく楽しそうに餅つきをしていました。

4月から始まったレッツの活動は今迄やったことがない事を多く経験出来ました。また息子をはじめ沢山の園児から「ありがとう」と喜んで頂けるのは他では得難い事だと、参加させて頂く度に感じました。(年長 保護者K)